

# 序

本特集号は、2009 年度をもって本学経済学部を定年により退任された、上野皓司先生に、深い感謝と惜別の情を込めて編まれたものである。

上野先生は、本学経済学部を卒業されたあと 1980 年に本学経済学部助教授（当時）として赴任され、その後 1992 年に教授に昇任された。この間 30 年の長きにわたり本学において活躍された。その深いご学識やご人格による指導力により、これまで多面において多大な貢献をなされてきた。

教育面においては、学部の講義として証券市場論等を、大学院の講義として地域経済学特殊問題等を主に担当されてきた。多くの学生を育成され、その中には実社会において活躍しており、先生のご薫陶の故と感謝する学生も多い。

研究面においては、マルクス経済学の研究を基礎として、広範な領域に関して取り組まれた。精力的なご業績の蓄積は他の教員に対する黙示の刺激となったことであろう。

学内行政面においては、学部において学科長、学生補導委員長（当時）や経済学会常任評議員会長等、全学においても図書委員会委員等を歴任され、大きな役割を果たされた。

地域貢献面においては、和歌山県を中心として、和歌山県都市計画審議会委員等、各種審議会・委員会等で指導的役割を果たされ、地域社会において大きなご貢献をなされた。

上野先生の本学並びに経済学部に対するこれまでのご貢献に対し心から敬意と感謝の意を表するとともに、今後の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

2010 年 4 月

和歌山大学経済学会長  
森 口 佳 樹